

(株) LINKS

代表取締役

PICK UP

THE PERSON

越智 大輔

KEY WORD

繋がり

— tsunagari —

主に代理店業務を手掛けている『LINKS』の越智社長。つまり、労働力と仕事をつなげていくことが社長の仕事の本質なのだ。橋渡し役を担うことにより、人と企業の両者にプラスをもたらすだけでなく、社会に参画できる人を増やし、多大な社会貢献を行っているのである。そして「つなげる」ことだけでなく、「つながり」を重んじている社長。縁の深い周囲の人々に対しての恩義を忘れることなく、その関係性をより良いものにしてようと常に行動している。人と高め合い支え合い、今後も社長は同社をさらに発展させていくだろう。



「我々と関わって下さる皆様全員に、
幸せになってもらいたいです」



越智 大輔

代表取締役

広島県呉市出身。元プロボクサー。2012年に引退してからは、営業を勉強するべく人材派遣会社に入社。半年で支店一の営業成績を叩き出し、福岡支店長に抜擢された。その後保険会社や建設会社を渡り歩き、個人事業主として独立。そして2019年10月に『LINKS』を設立。主に建設業や携帯販売のセールスプロモーションなどを手掛けている。



株式会社 LINKS

福岡県福岡市中央区大名 2-8-18 天神パークビル 403B
URL : <https://links-fuk.com>

地道に一步ずつ、研鑽を重ねてきた 紡いだつながりを大切に 絶えず恩返しをし続けたい

福岡市中央区で建設業や代理店業務などを手掛けている「LINKS」。同社の越智社長は、元プロボクサーという異色の経歴を持つ人物。人とのつながりを大切にするその生き様から、12人の従業員たちからは絶大な信頼を得ている。本日は竹原慎二氏が社長のもとを訪れ、インタビューを行った。

——越智社長の歩みからお伺いします。元プロボクサーだそうですね。実は、名前を聞いたことがあるな、と思っただけですよ。

はい。19歳から26歳まで、7年間やっていました。ボクサーの道に進んだ私ですが、10代のころから「社長になりたい」という気持ちはあったんです。そこで引退を機に、営業を勉強しようとして人材派遣会社に入社したんです。そこでは派遣先とスタッフをつなげる業務に携わりました。こうした業務は現在当社でも手掛けているので、同社で得たノウハウは自分の中でもとても大きな礎になったと言えますね。そしてそこで、半年で支店一の営業成績を取ることができ、その実績が評価され福岡支店長に抜擢されました。そこでは、1年で売上を倍にまで伸ばすことができました。

——トントン拍子ですね。これぞまさに、華麗なる転身ですよ。

人と話すことには、慣れていましたからね。福岡支店時代には学んだことも多く、充実していましたが、時間を経るうちに会

社の方針と自分の考えに違いが出てきました。結局そのまま動めを続けるわけにもいれないと思い、福岡の保険会社に転職しました。そこでは約2年勤め、次に建設会社の役員として約1年勤めました。こうしたキャリアの中で、独立に向け人材ビジネスのイロハや会社経営、経理関係の勉強を重ねていったのです。満を持して個人事業主として独立したのが約4年前の話ですね。そして約1年半前に当社を設立し、現在に至ります。

——スタート時は社長お一人だけ？

そうですね。一人で建設業から始めました。当初は改修工事など、実際に現場に出ることが多かったんです。そこから次第に、下請けさんと元請けさんをつなげる仕事を担うようになりました。そして現在では代理店業務も手掛けるようになり、当社の従業員も12名にまで増えました。

——なるほど。では、『LINKS』さんが手掛ける代理店業務は、どの業界を対象にされているのでしょうか。

すよ。整備されているのが当然ではありませんが、給与の支払いという面には特に気を使っています。

——ご立派です。では最後に、社長の今後の目標をお伺いします。

従業員が「自分のため」に頑張ることが、結果的に「会社のため」に帰結するようになる仕組みを私は作りたいのです。そのため、今後も鋭意努力していく構えです。また、益々の事業拡大をしていくため、現在当社では共に働ける仲間を募集しております。良くも悪くもワガママな人、貪欲に様々なものを手に入れたいと思ってる人材を求めています。業務は多岐にわたるので、一人ひとりに適したお仕事を任せられます。ご興味のある方は、ぜひともご連絡をいただきたいですね。そしてゆくゆくは、私の右腕のような存在が出てきてくれたら助かるな、と考えています。

まず一つは、建設業ですね。当社は充実の登録人員数を誇っており、重機の資格を有する人員も在籍しています。ですので、どんな現場にも対応できる自信があります。現在は水害の対応や、太陽光関係の現場に当社の人員を派遣しているんです。そして次に、携帯販売のセールスプロモーションの人員も派遣しております。研修や教育制度は徹底しており、当社が派遣するのは礼儀正しく、明朗快活な人員ばかりなので、対応するお客様に好印象を与えるでしょう。その他の事業としては、イベントの企画・立案・運営や各種アテンドなども手掛けています。商品販売イベント、お笑いステージ、各種セレモニーなどに関しては、ぜひ我々にお任せいただきたいと思います。

——どんどん成長しておられる『LINKS』さんですが、その要因はどこにあるとお考えですか。

やはり、人に恵まれたお陰ですよ。従業員たちをはじめとする、周囲の方々のお力添えがなければ、ここまでやってこれませんでした。感謝の気持ちを忘れずに、支えられるだけでなく還元していきたいという思いが強いですね。

——周囲の方々に対する恩返しをしたいという気持ちがあるんですね。

はい。そこでまず目を向けるべきは、当社の従業員たちだと考えています。皆には充実した生活を送ってもらいたいですが、快適な労働環境を作るための努力は惜しみません。様々な会社での勤めを経験してきましたから、そこで客観的に会社を見た時に感じた良い部分は参考にし、そうでない部分は反面教師にしようと努めていま

Commemorative Shot



●ゲストインタビュー
竹原 慎二
(元WBA世界ミドル級チャンピオン)

「越智社長は元プロボクサーということで、今回の対談では非常に親近感や刺激を感じました。社長を見ていて、ひたむきに自己研鑽することができる人物は、どんな業界でも成功を取ることができるのだな、と思いましたよ。社長なら、『LINKS』さんを今以上に飛躍させることができるはずですよ。これからは陰ながら、応援させていただきますよ！」

CHECK POINT

活かされる、ボクサー時代に培った経験

▼『LINKS』の越智社長は一般的な経歴の経営者ではない。7年間プロボクサーとして活躍し、タイトルを獲得したこともあるという異色の経歴の持ち主だ。現在は代理店業務や建設業を手掛けており、ボクシングからは遠く離れた業界に身を置いている社長だが、ボクサー時代に培った経験は今も確固たる基盤となって社長を支えているのだ。

▼ボクサーを引退した後、真っ先に経験が活かされたのが、営業の仕事だった。元々、チケットを売るため営業に奔走したことがあった社長。デビュー戦の際には、社長一

人で約100枚ものチケットを売ったこともあるという。そんな社長が営業マンとして成功を掴むことができたのは、まさに自然なことだった。

▼そして何より今に活きているのが、ボクサーとしてストイックに鍛錬を重ねて手に入れたメンタルである。スポーツにおいても仕事においても、地道な努力の積み重ねは目に見える結果を出すために不可欠。その努力を厭う気持ちなど微塵もなかった社長だからこそ、ボクサーから社長へと華麗なる転身を遂げることができたのだ。